

本年 10 月 12 日～14 日 IMF/世界銀行年次総会が開催されました。それに先立ち、開催地が東京であることから東リジョンに対し、国際ソロプチミストよりソロプチミスト会員代表の参加の要請がありました。これを受けて、伊藤純江 2009-2011 年連盟理事にご依頼し、フォーラムに参加していただきました。以下に伊藤 2009-2011 年連盟理事の報告書をお届けします。 ガバナー 吉住 喬子

a global voice  
for women

Soroptimist  International

2012 年 11 月 20 日  
2009～2011 年連盟理事  
伊藤純江

## 国際通貨基金 (IMF) ・世界銀行 (WB) 年次総会 市民社会団体 (CSO) ポリシー・フォーラムに出席して

現在、国際ソロプチミスト (SI) は、国際会長と 4 連盟の代表 (3 名ずつ) から成る理事会において、SI の法人化、組織改革、定款改定、財政等の協議を行っており、昨年からのジェンダー問題に取り組み始めた世界銀行の年次総会に代表を送っている。2 年目の代表として、去る 2012 年 10 月 10～13 日に東京国際フォーラムで開催された IMF ・世界銀行の市民社会ポリシー・フォーラムに出席した。国際ソロプチミストからは 4 つの質問に答える報告書を提出するよう求められた。以下はその要旨である。

### 1. 国際ソロプチミストにとって役に立つイニシアチブまたは活動について学んだこと アフリカのための女性ネットワーク

多くの市民団体が IMF や世界銀行と関わりたいと願っている。その中で、この年次大会のために設立されたアフリカの女性団体が、アメリカ・メリーランド州の世界的な団体の協力を得て「女性、維持可能な平和、経済成長についてのグローバルなタウンホール (公会堂)」を開催した。この団体はタンザニア、ケニア、ナイジェリア、リベリア等アフリカ諸国の団体がメンバーであるが、国連の人権問題担当者 2 名がオブザーバーとなっている。最近、アフリカの発展はめざましく、世界の経済成長国 10 位のうち 7 か国がアフリカである。(筆者注：現在、SI はアフリカ連盟の創設を考えている)



### 国民皆保険制度

ミレニアム開発目標 2015 年以降の目標の一つは「内包的成長」(一人ひとりの成長)といわれている。開発目標は世界全体では達成されてきているが、低収入国ではまだ多くの人々が貧困と飢餓に苦しみ、中程度収入国でも経済格差と失業が発展を阻害している。国民健康保険は「内包的成長」に貢献する。世界銀行は「よりよい国民皆保険制度こそ、すべての人々に健康な生活を与え、発展途上国の人々に健康的な未来を約束する」と述べ、健康に投資を始めている。(注：SI は妊婦の健康に力を入れている)

### 高齢女性の IT 革命

これは、日本の高齢の女性たちが多くの支援者を得て、災害から立ち上がろうとするエンパワーの一例である。陸前高田市の長洞 (ながほら) 地区は小さな漁村。昨年 3 月の津波で 60 軒のうち半数が流され、学校の体育館に避難した。村人たちが作ったのはまず自治会。日本マイクロ社は「らくらく携帯電話」を寄付した。最初は乗り気でなかった高齢の女性たちも千葉大学の学生ボランティアの助けを借りて使い方を覚え、やがて「なでしこブログ」を書くようになった。このブログに学者や専門家が参加し、仮

設住宅 26 戸が建設された。住民は「長洞元気村」と名付けて、陸前高田市の産物をネットで販売し、現在、高台に恒久の村を建設する案を提案中であるという。IT 教育とボランティアとの協働作業による「女性の進化」である。(注：ジム世界銀行総長は今後の開発計画に災害予防が必要との声明を出した)

## 2. 国際ソロプチミストが知っておくべき事柄について学んだこと

Oxfam (貧困と不正に対して闘う市民団体) は、「現在、世界銀行はアフリカ等の土地の搾取につながる土地への投資を行っているが、約 6 か月間投資を中止し、投資ポリシーを見直すべきである」と述べ、土地の管理、食の確保について規定すべきであると提言した。最近の Oxfam の分析によると:

- ・土地の買い上げは飢餓や貧困の解決にはならない。過去 10 年間に売買された土地の 3 分の 2 はバイオ燃料に使われる植物を育てている。
  - ・アフリカでは農業従事者の 40~60%が女性であり、非識字者の女性は土地の権利を奪われやすい。
- (注：市民団体の役割の一つは、政治の腐敗等のために資金が国民に届かない弊害を阻止すること)

## 3. 国際ソロプチミストが世界銀行/IMF と関わるためにはどうしたらよいか



市民団体が説明責任 (アカウンタビリティ: 社会に対して活動の意義を納得させ、資金の用途を説明する責任を負うこと) をもつためには、①透明性があるか ②協議・相談をしているか ③評価やモニタリングをしているか ④修正・矯正を行っているかが必要である。さらに、世界銀行のホフマン氏によれば、国際的な法律に則った運営が必要である。(これは国際ソロプチミストの組織にとっても大切なことだと思われる。分科会のあとで、ホフマン氏 (後列中央) に「どうしたらもっと世銀と関わりをもつことができるか」と質問して、世界銀行のジェンダー担当の女性を二人紹介してもらい SI に報告した)

## 4. 国際ソロプチミストにとって連携可能なパートナーシップとネットワーキング

### キルギスタン女性 NGO フォーラム

この団体は 1994 年に設立された中央アジアの女性団体で、目的は、国際ソロプチミストと同様、男女



平等、女性のエンパワメント、女性の権利である。2005 年、国連の ECOSOC の協議資格を得ている。特筆すべきは審議会を立ち上げ、政府の腐敗に対する透明性を明らかにしたことである。

現在、キルギスタンの国会議員の 25%が女性であり、大統領は女性である。

ナーグル会長 (中央) は、IMF や世界銀行と関わるためには、何よりも透明性と戦略が必要であり、コミュニケーション力と開放的な心が必要であると述べた。

### アフガニスタン教育研究所

1995 年にサケナ博士によって設立されたアフガニスタンの NGO である。貧困に苦しむアフガニスタンの人々、とりわけ女性と子どもたちの教育と健康を支援することを目的に、アフガニスタンのカブールとヘラト、パキスタンのペシュワールに事務所を置く。雇用者の 70%は女性で、女性の先生を育て、人権、女性の権利、リーダーシップ、平和教育を行う。この研究所の連絡先は、現在、アメリカのミシガン州に置いている。

最後に、このような機会を与えてくださった国際ソロプチミスト、国際ソロプチミストアメリカ、日本東リジョンに深くお礼申し上げたい。